（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	トータルサポートえん（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～	2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32名	（回答者数）	30名（きょうだい3世帯）
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～	2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数）	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	**課外活動の提供に力を入れている** お買い物体験や施設を活用した課外活動を積極的に提供しており、子どもたちが多様な体験を通じて社会性や新たな興味を発見できる環境が整っています。活動範囲が広く、子どもたちの成長につながっています。	**課外活動の多様化** 地域施設のイベントや自然探索など、子どもたちが実生活の中での学びや社会参加を経験できるように、毎月の課外活動の充実を図っています。	**地域資源の活用拡大** 近隣の施設や団体と連携を深め、新しい課外活動の機会を設け、より多様な体験が提供できるように努めます。
2	**個別支援と集団活動の両立** 一人ひとりに合わせた個別支援と、集団活動での協調性やコミュニケーション力を養う活動をバランス良く取り入れています。これにより、子どもたちが自信を持ち、さまざまな場面での適応力が身につきます。	**活動のメリハリを意識** 個別支援では静かに集中できる環境を、集団活動では一緒に盛り上がれる雰囲気づくりを大切にし、子どもたちがその場に応じて活動しやすいよう支援しています。	**個別支援プログラムの充実** 子どもたちの成長に応じた多様な個別プログラムを導入し、家庭での支援方法も併せて提案することで、保護者との連携をさらに強化します。
3	**多種のスタッフが充実している** 幅広い専門性を持ったスタッフが揃っており、子どもたちの発達に合わせた支援が可能です。スタッフ同士の連携も強く、保護者との密なコミュニケーションにも力を入れています。	**スタッフの専門性を活かす** 充実したスタッフの専門性を活かし、定期的な研修や勉強会を開催しています。各自の特技や知識を共有することで、質の高い支援を維持できるよう努めています。	**定期的なスタッフのスキルアップ研修** スタッフが継続して最新の療育スキルを学べるように研修を重ね、より充実した支援を行うための体制を整えます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	**限られた活動スペース** 個別支援・集団活動を行うためのスペースが限られており、活動内容の拡充が難しい場面があります。より多くの子どもたちに安心して利用してもらえる環境が必要と思われます。	**スペースの制約** 限られたスペースでは活動内容が限られてしまい、柔軟な活動プランの展開が難しくなることが課題です。また、活動時の配置や流れが制限されることで、自由な学びや交流がしにくい場面もあります。	**活動スペースの有効活用と改善** スペースの有効活用方法や配置の工夫を通じて、個別・集団活動の使い分けがスムーズにできるような取り組みを進めます。また、場合に応じて外部施設の活用も検討します。
2	**事業所の認知度の向上が課題** 施設の情報発信が十分でないため、事業所のサービス内容が知られていないことが多く、潜在的な利用希望者に届きづらい状況です。	**広報活動の不足** 日常業務の多忙さから広報活動が後回しになり、事業所の良さや特長が十分に伝えられていないことが課題です。認知度の低さが、地域との連携機会の不足にもつながっています。	**広報活動の充実化** 地域のイベントやSNS、ウェブサイトなどを活用し、定期的に事業所の情報を発信することで、認知度向上を図ります。また、保護者からの紹介や口コミを促進し、利用希望者を増やします。
3	**提供するサービスに限界がある** 療育施設としての特化により、相談支援や保育所訪問などの事業を行っていないため、提供するサービスに限界があり、より幅広い体験の機会が求められています。	**専門分野に偏ったサービス提供** 療育以外のサービス提供ができていないため、子どもたちの成長に必要な幅広い支援が不足していることが課題です。	**新たな事業の開所** 療育施設以外のサービスを新たに提供できる事業の開所を検討することで、子どもたちにより多様な支援を行えるよう努めます。また、他事業所との連携を強化し、利用児が幅広いサービスを受けられるような体制を整えます。